

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 市民のみなさん、ありがとう

「全力で悔いなき4年を」。この私の気持ちを察してか、市民のみなさんから、激励や助言をたくさんいただいています。工場の壁に貼られている類のものや、毎朝の始業時に全員で唱和するようなものまで、市役所の改善に役立てて欲しいと、郵便物が届きます。例えば、次のようなものです。

【改善の基本精神 10 か条】

1. (略)
2. できない理由より、やる方法を考えよ
3. (略)
4. パーフェクトを求めな、50点で良い、すぐやれ
5. 誤りはすぐ直せ
6. 改善に金をかけるな
7. 困らなければ“チエ”がでない
8. (略)
9. 一人の“知識”より10人の“チエ”を
10. 改善は無限である

その都度、必要なものをメモして、日々の市役所生活に役立てるつもりです。

■ 中国市長会に出席して

去る5月7日、中国5県の市長会(53人)が広島市で開かれました。毎年、年2回の恒例行事です。各県の市長会から提出されたたくさ

んの要望の中から、あらかじめ全国市長会から与えられた中国支部の持ち枠(10)に収まるよう、要望を絞り込むのが主な議題です。その中に、広島県の中国山脈に近い数市にまたがるバス会社が経営破綻して廃業し、鉄道のない地域で、多くの市民、特にそのバスで通勤・通学していた人たちが、交通の手段を失い途方に暮れているといった悲惨なケースが含まれていました。なんとかして欲しいと校長会ほかの要請もあったそうです。しかし、それぞれの単市の能力では、到底対応できない。国の支援をぜひお願いしたいという深刻な要望でした。

本市のことがすぐ頭に浮かびました。本市にはJRの山陽本線・小野田線・美祢線があり、また複数のバスも運行されています。しかし、どれも利用者が少なく、美祢線については利用促進協議会が頻繁に開催されていますが、今のところ、結果に結びつかないようで、副会長として焦りを感じないわけにはいきません。市内を走るバスも、毎年約1億3,000万円の赤字を出し続け、市からは補助金を交付しています。毎日のように、ガラガラのバスを目にするのも私だけではないでしょう。この赤字を、「高齢者の外出」という福祉政策とうまく結びつけることはできないのか。

市民のみなさん、お知恵を貸してください。